

Traders Market Report

トレーダーズ・アイ



毎週月曜日(祝祭日除く)発行

平成20年2月12日

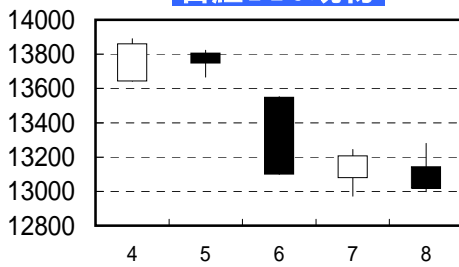
【週刊】証券レポート

Market Review for last week

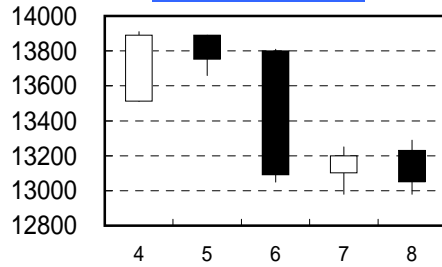
2008/2/4 ~ 2008/2/8

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	CHANGE
日経平均(現物)	13642.60	13889.24	12972.55	13017.24	-479.92
日経225先物	13,510	13,910	12,980	13,050	-440
ドル円	106.54	107.82	105.93	107.34	0.84

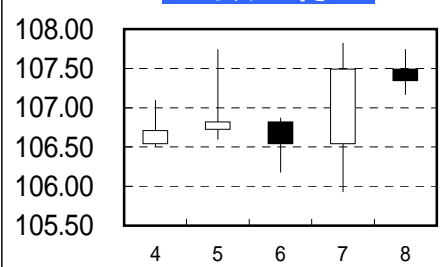
日経225現物



日経225先物



ドル/円



今週の見通し

トレーダーズ投資顧問株式会社

【先週の株式市場】

先週の東京株式市場は反落となりました。月曜日、前週金曜の米国市場がマイクロソフトによる大型買収のニュースで続伸したことを受けて東京市場も大幅高の寄り付きとなり、終日しっかりとした推移のまま362円高で引けました。火曜日、米国市場反落から東京も下落して始まりましたが、大きく崩れることなく比較的落ち着いた推移で114円安となりました。水曜日、ISM非製造業景況指数が好不況の分かれ目となる50を大きく下回ったことを切っ掛けにニューヨークダウが370ドル安となったことから東京市場も一気に崩れ、殆ど反発しないまま646円の大暴落となりました。木曜日、米国株式は小幅続落となりましたが、東京市場は前日の大幅安の反動もあってみあいとなり、結局107円高と反発して引けました。金曜日、2月限先物オプションSQ算出を波乱なく通過し朝方は高くなる場面もありましたが、寄りに前に発表された12月の機械受注が市場予想を下回るマイナスとなったことから機械株が全般に売られ、3連休前のポジション調整もあって午後はいり安の展開のなか189円安の13017円で引けました。結局週間ベースの日経平均は3.56%の下落となりました。

主要マーケットの動き

	先週終値	週間リターン
日経225	13017.24	-3.56%
TOPIX	1287.14	-3.72%
NYダウ	12182.1	-4.40%
ナスダック	2304.85	-4.50%
ドル円	107.40	0.99%

(Source: Bloomberg) 注) ドル円終値は東京市場金曜日の午後4時前後の数値を使用

【今週の展開】

先週は米国のサービス業景況指数が急低下したことを背景に米国の景気後退懸念が一気に高まり、東京株式市場も大きく影響されました。週後半には13000円台でなんとか踏み止まりましたが、目先の2番底になるかはまだ予断を許しません。発表がピークを迎えた企業業績も下方修正が相次ぎ、52週安値を更新する銘柄も多く見られました。また、逆に通期見通しを上方修正した銘柄についても株価上昇が長続きせず、地合いの悪さを印象付ける結果となっています。先週末発表された機械受注も好調だった外需に減速感が見られるなど、日本のマクロ経済環境においても弱いものが目立ってきました。株価は既にこれらを織り込んで下がってきたとも言えますが、当面は上値の重い状態が続くでしょう。今週は木曜日に10-12月期の実質GDPの発表が予定されています。

そこそ堅調な結果になると予想されていますが、市場の目は先行きの減速の方に向いており、上振れよりは下振れの方に反応する可能性が高いと思われます。また、米国においては小売売上、貿易収支などの指標が予定されており、それらの結果に大きく左右される可能性があります。また、モノライン問題も引き続きのリスク要因です。結局、今週も軟弱な地合いが続くという見通しになりそうです。

今週の主要イベント

日本		米国	
2月13日	国内企業物価指数	2月13日	小売売上
	消費者態度指数	2月14日	貿易収支
2月14日	10-12月期実質GDP	2月15日	ニューヨーク連銀製造業景況指数
	首都圏新規マンション発売		鉱工業生産
2月15日	日銀政策決定会合		ミシガン大学消費者信頼感指数

注) 米国経済指標の日付は日本時間

今週の予想レンジ

2008/2/11 ~ 2008/2/15

日経平均先物	12,500	12,700	12,900	13,100	13,300	13,500	13,700	13,900